



学校だより

令和5年度 第1号
令和5年4月28日発行
横浜市立藤の木中学校
横浜市南区大岡四丁目44番1号
045-714-2817

コミュニケーション力

校長 笹原 洋子

今年度の藤の木中学校は、4月7日に101名の新入生を迎え、全校生徒301名でスタートしました。比較的規模の小さな学校の特徴を生かして、「全教職員で全校生徒を」見守ったり、指導したりしてまいります。今年度も、保護者・地域等の関係者の皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

冬の間は上笹堀のバス停の近くからはっきりと見えていた富士山が、春霞にかすんで見えるようになりました。藤の木中学校の正門近くに藤棚があるのですが、実はここ数年、花を咲かせていませんでした。昨年度、PTAの協力もあり、手入れをしていただいたところ、この春、藤色の花と白い花が数房ですが咲きました。美しい藤棚になるには数年かかるかもしれませんが、藤の木中らしく美しい藤の花が咲き誇る日を目指して、手入れをしていきたいと考えています。



藤の木中学校の教育スローガンは「社会に貢献するストリートスマートの育成」です。

今年度もこのスローガンのもと、教職員一同、努力してまいります。

特に力を入れたいことは「コミュニケーション力」の育成です。現在の社会の中で求められている力の一つです。しかし、この数年のコロナ禍の生活で、マスクをつけ、大きな声を出すことを制限され続けた影響かもしれませんが、生徒たちは静かに話を聞くことはしっかりできますが自分の意見等を表現することは苦手としているようです。

そこで、今年度は本校の教育活動全般を通して、「コミュニケーション力」の育成を目指した活動を工夫していきます。

まずは、授業です。生徒たちが自分の意見や考えを書いたり、発表したり、話し合ったりする機会を増やしていきます。

安心して意見を言うためには、聞く側の態度も大切です。自分と違う考え方も否定することなく受け止めましょう。右に、

「教室はまちがうところだ」という詩の一部を紹介します。

ぜひ、たくさん意見を言い合い、コミュニケーション力を身に付けましょう。

詩「教室はまちがうところだ」

詩田 晋時

教室はまちがうところだ
みんなどしどし手を上げて
まちがった意見を 言おうじゃないか
まちがった答えを 言おうじゃないか

まちがうことをおそれちゃいけない
まちがったものをワラっちゃいけない
まちがった意見を まちがった答えを
ああじゃあないか こうじゃあないかと
みんなで出しあい 言い合うなかで
ほんとのものを見つけていくのだ
そうしてみんなで伸びていくのだ
(後略)